

第3章 関係資料

1. 心の健康サポートニーズ調査 実施結果(詳細)

1. 実施結果(詳細)

表1 回答者の基本属性(地域別)

基本属性		岩手県				宮城県				男性	女性	合計
		一関	宮古	盛岡	大船渡	石巻	気仙沼	名取	仙台			
		188	167	204	150	98	155	139	162			
性別割合 (問 1)	男性	33 (18%)	26 (16%)	28 (14%)	34 (23%)	15 (15%)	44 (29%)	27 (19%)	38 (23%)			245 (19%)
	女性	155 (82%)	141 (84%)	176 (86%)	116 (77%)	83 (85%)	111 (71%)	112 (81%)	124 (77%)			1018 (81%)
年 齢 構 成 (問 2)	30 歳未満	4 (2%)	4 (2%)	8 (4%)	10 (7%)	6 (6%)	6 (4%)	6 (4%)	4 (3%)	10 (4%)	38 (4%)	48 (4%)
	30－44 歳	25 (13%)	17 (10%)	36 (18%)	34 (23%)	21 (21%)	16 (10%)	27 (20%)	26 (16%)	44 (18%)	158 (16%)	202 (16%)
	45－59 歳	66 (35%)	49 (29%)	73 (36%)	47 (32%)	41 (42%)	60 (39%)	50 (37%)	58 (37%)	69 (29%)	375 (37%)	444 (35%)
	60－74 歳	91 (49%)	92 (55%)	80 (40%)	52 (35%)	25 (26%)	62 (40%)	53 (39%)	54 (34%)	100 (41%)	409 (40%)	509 (41%)
	75 歳以上	1 (1%)	5 (3%)	4 (2%)	6 (4%)	5 (5%)	11 (7%)	1 (1%)	16 (10%)	19 (8%)	30 (3%)	49 (4%)
	平均値(標準偏差)	56.6 (11.5)	58.9 (11.6)	54.4 (12.2)	53.3 (14.1)	52.0 (13.3)	57.6 (12.1)	53.2 (12.3)	57.0 (13.5)	56.8 (14.1)	55.3 (12.3)	55.6 (12.7)
仕 事 の 状 況 (問 7,問 8)	仕事あり	99 (53%)	88 (53%)	125 (61%)	104 (69%)	74 (76%)	116 (75%)	88 (63%)	97 (60%)	171 (70%)	620 (61%)	791 (63%)
	仕事なし	89 (47%)	79 (47%)	79 (39%)	46 (31%)	24 (24%)	39 (25%)	51 (37%)	65 (40%)	74 (30%)	398 (39%)	472 (37%)
	(仕事ありの内)											
	正規雇用	55 (54%)	36 (41%)	48 (39%)	46 (44%)	35 (48%)	55 (48%)	41 (46%)	46 (48%)	99 (58%)	263 (43%)	362 (46%)
	非正規雇用	23 (23%)	35 (40%)	50 (40%)	42 (40%)	25 (34%)	35 (31%)	31 (35%)	31 (33%)	32 (19%)	240 (39%)	272 (35%)
	自営・他(役員など)	24 (24%)	16 (18%)	26 (21%)	16 (15%)	13 (18%)	24 (21%)	17 (19%)	18 (19%)	40 (23%)	114 (18%)	154 (19%)
同 居 家 族 の 状 態 (問 15, 問 16)	単身	15 (8%)	18 (11%)	27 (14%)	25 (18%)	13 (14%)	16 (11%)	25 (19%)	31 (21%)	35 (15%)	135 (14%)	170 (14%)
	同居家族有	165 (92%)	139 (89%)	161 (86%)	116 (82%)	79 (86%)	135 (89%)	107 (81%)	116 (79%)	196 (85%)	821 (86%)	1018 (86%)
	平均同居人数(標準偏差)	3.2 (1.6)	2.7 (1.4)	2.6 (1.2)	3.0 (1.6)	3.1 (1.7)	3.4 (1.7)	2.7 (1.4)	2.5 (1.3)	2.9 (1.5)	2.9 (1.5)	2.9 (1.5)

a. 無回答を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。

表2 被災に関連した生活状況

被災に関連した生活状況に関する質問項目			男 性 (N=245)	女 性 (N=1,018)	合 計 (N=1,263 ^a)
被災者支援活動(ボランティア活動を含む)の経験の有無 (問 3)	あり		139 (57%)	588 (59%)	727 (59%)
	なし		77 (32%)	296 (30%)	373 (30%)
	今後活動したい		28 (11%)	107 (11%)	135 (11%)
震災後の転居の回数 (問 12)	転居していない		158 (68%)	755 (79%)	913 (77%)
	1 回		32 (14%)	96 (10%)	128 (11%)
	2 回		25 (11%)	48 (5%)	73 (6%)
	3 回		11 (5%)	34 (4%)	45 (4%)
	4 回以上		6 (3%)	21 (2%)	27 (2%)
震災後に転居された方の現在の住まい (問 13)	震災前住居に戻った		13 (19%)	39 (21%)	52 (20%)
	新しく建てた		14 (20%)	33 (17%)	47 (18%)
	プレハブ仮設		11 (16%)	29 (15%)	40 (15%)
	みなし仮設		8 (11%)	24 (13%)	32 (12%)
	賃貸住宅		15 (21%)	35 (19%)	50 (19%)
	家族・友人・親戚宅		3 (4%)	14 (7%)	17 (7%)
	その他		6 (9%)	15 (8%)	21 (8%)
経済状況とその変化 (問 10,問 11)	(現在は)	大変苦しい	8 (3%)	21 (2%)	29 (2%)
		苦しい	28 (11%)	92 (9%)	120 (9%)
		やや苦しい	61 (25%)	212 (21%)	273 (22%)
		普通	148 (60%)	693 (68%)	841 (67%)
	(震災前に比べ)	苦しくなった	69 (28%)	240 (24%)	309 (25%)
		変化なし	167 (68%)	756 (74%)	923 (73%)
		楽になった	9 (4%)	22 (2%)	31 (2%)
喫煙状況とその変化 (問 6)	吸わない		201 (82%)	958 (95%)	1159 (93%)
	吸う		43 (18%)	49 (5%)	92 (7%)
	(震災前に比べ)	増えた	16 (40%)	20 (41%)	36 (40%)
		増えない	24 (60%)	29 (59%)	53 (60%)
飲酒状況とその変化 (問 6)	飲まない		75 (31%)	642 (65%)	717 (58%)
	飲む		169 (69%)	353 (35%)	522 (42%)
	(震災前に比べ)	増えた	38 (23%)	46 (13%)	84 (16%)
		増えない	128 (77%)	302 (87%)	430 (84%)

a. 無回答を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。

表3 現在の健康状態

健康状態に関する質問項目		男 性 (N=245)	女 性 (N=1,018)	合 計 (N=1,263 ^a)
一般健康状態 ^b (問 4)	良い	193 (79%)	825 (82%)	1019 (81%)
	不良である	51 (21%)	187 (18%)	237 (19%)
心の健康状態 (K6 合計点) ^c (問 5)	4 点以下	122 (52%)	480 (49%)	602 (50%)
	5～9 点	75 (32%)	312 (32%)	387 (32%)
	10 点以上	39 (17%)	180 (19%)	219 (18%)
人に相談しにくいことの有無 (問 17)	相談しにくいことがある	103 (43%)	591 (59%)	694 (56%)
(相談しにくい内容:複数回答) (問 18)	仕事	39 (36%)	162 (27%)	201 (28%)
	家族	26 (24%)	265 (43%)	291 (40%)
	自分の健康	27 (25%)	152 (25%)	179 (25%)
	経済的な問題	32 (30%)	128 (21%)	160 (22%)
	住居	7 (6%)	43 (7%)	50 (7%)
	育児や教育	4 (4%)	29 (5%)	33 (5%)
	周囲との人間関係	24 (22%)	142 (23%)	166 (23%)
	介護	7 (6%)	67 (11%)	74 (10%)
	その他	6 (6%)	72 (12%)	78 (11%)

- a. 無回答を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。
- b. 問 4 において「とても良い」または「まあ良い」と答えた人を「良い」、「良くない」または「あまり良くない」と答えた人を「不良である」とした。
- c. 問 5 において 6 項目の質問それぞれについて「全くない」を 0 点、「少しだけ」を 1 点、「ときどき」を 2 点、「たいてい」を 3 点、「いつも」を 4 点として合計得点とし、4 点以下を良い、5～9 点を中程度、10 点以上を悪いとした。

表4 生活満足度、生活満足度を判断する基準、重視した事項、生活満足度を高めるために有効な手立て

生活満足度に関する質問項目		男 性 (N=245)	女 性 (N=1,018)	合 計 (N=1,263 ^a)
生活満足度 (問 29)	高い(8点以上)	74 (31%)	335 (34%)	409 (33%)
	中程度(6－7点)	76 (32%)	305 (31%)	381 (31%)
	低い(5点以下)	90 (38%)	356 (36%)	446 (36%)
満足度判断の基準 (2 つまでの複数回答) (問 30)	自分の理想との比較	141 (60%)	590 (60%)	731 (60%)
	他人との比較	30 (13%)	110 (11%)	140 (11%)
	過去の自分との比較	64 (27%)	293 (30%)	357 (29%)
	将来への期待・不安	120 (51%)	520 (53%)	640 (52%)
満足度を判断する際に重視した事項 (複数回答) (問 31)	家計の状況(所得・消費)	150 (63%)	642 (65%)	792 (64%)
	就業状況(仕事の有無・安定)	66 (28%)	245 (25%)	311 (25%)
	健康状況	155 (65%)	677 (68%)	832 (68%)
	自由な時間	70 (29%)	343 (35%)	413 (34%)
	充実した余暇	54 (23%)	255 (26%)	309 (25%)
	仕事の充実度	80 (33%)	270 (27%)	350 (28%)
	精神的なゆとり	128 (54%)	509 (51%)	637 (52%)
	趣味、社会貢献などの生きがい	96 (40%)	377 (38%)	473 (38%)
	家族関係	105 (44%)	561 (57%)	666 (54%)
	友人関係	70 (29%)	400 (40%)	470 (38%)
	職場の人間関係	55 (23%)	180 (18%)	235 (19%)
	地域とのつながりや交流	82 (34%)	246 (25%)	328 (27%)
	自分自身の努力	167 (70%)	621 (63%)	788 (64%)
満足度を高めるために有効な手立て (2 つまでの複数回答) (問 32)	家族との助け合い	147 (62%)	673 (68%)	820 (67%)
	友人や仲間との助け合い	92 (39%)	443 (45%)	535 (44%)
	社会(地域住民、NPO 等)との助け合い	38 (16%)	98 (10%)	136 (11%)
	職場からの支援	14 (6%)	54 (5%)	68 (6%)
	政府からの支援	15 (6%)	83 (8%)	98 (8%)

a 無回答を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。

表 5-1 震災後の転居経験者の健康状態(年齢別、性別)

健康状態に関する質問項目 (N=1,178 ^b 人)			男性			女性		
			転居経験 あり ^a (N=74)	転居経験 なし (N=156)	P ^c	転居経験 あり ^a (N=197)	転居経験 なし (N=751)	P ^c
年齢(中央値、25－75%値)(問 2)			55 (39-67)	60 (49-68)	0.0372*	50 (41-63)	57 (48-65)	<0.0001*
一般健康状態(不良である) ^d (問 4)			21 (28%)	29 (19%)	0.098	53 (27%)	126 (17%)	0.001*
心の健康状態(K6 合計点) ^e (問 5)	4 点以下		23 (32%)	90 (60%)	<0.001*	77 (40%)	370 (52%)	0.005*
	5～9 点		28 (39%)	43 (28%)		64 (34%)	226 (31%)	
	10 点以上		20 (28%)	18 (12%)		50 (26%)	123 (17%)	
人に相談しにくいことの有無(問 17)		相談しにくいことがある	37 (51%)	63 (40%)	0.143	134 (69%)	431 (58%)	0.005*
(相談しにくい内容:複数回答*、上位 5 つ) (問 18)		仕事	16 (42%)	22 (34%)	0.470	39 (28%)	116 (26%)	0.638
		家族	9 (24%)	17 (27%)	0.713	61 (45%)	191 (44%)	0.834
		自分の健康	8 (21%)	18 (29%)	0.402	39 (28%)	106 (24%)	0.309
		経済的な問題	8 (21%)	22 (35%)	0.140	38 (27%)	82 (19%)	0.023
		周囲との人間関係	13 (34%)	11 (17%)	0.055	26 (19%)	109 (25%)	0.158
44 歳未満	男 性 N=52 女 性 N=192	一般健康状態が不良である	8 (30%)	6 (25%)	0.762	15 (25%)	29 (22%)	0.619
		心の健康状態が不良である(K6 合計点 5 点以上)	19 (70%)	11 (46%)	0.094	36 (61%)	70 (53%)	0.281
		相談しにくいことがある	14 (52%)	15 (60%)	0.554	45 (78%)	84 (64%)	0.058
45－59 歳	男 性 N=67 女 性 N=365	一般健康状態が不良である	5 (29%)	8 (16%)	0.289	20 (27%)	45 (16%)	0.024*
		心の健康状態が不良である(K6 合計点 5 点以上)	11 (69%)	20 (42%)	0.085	43 (58%)	160 (56%)	0.761
		相談しにくいことがある	12 (71%)	28 (56%)	0.394	51 (69%)	182 (64%)	0.397
60 歳以上	男 性 N=111 女 性 N=391	一般健康状態が不良である	8 (27%)	15 (19%)	0.430	18 (29%)	52 (16%)	0.017*
		心の健康状態が不良である(K6 合計点 5 点以上)	18 (64%)	30 (38%)	0.016*	35 (60%)	119 (40%)	0.003*
		相談しにくいことがある	11 (38%)	20 (25%)	0.174	38 (61%)	165 (51%)	0.128

- a. 問 12 において震災後、1 回以上転居したと回答した人(問 12 の選択肢 2～5 を選んだ人)を転居経験有とした。
- b. 転居経験の有無及び年齢を回答した人(1,178 人)のうち、この表で集計対象としたその他の問で無回答であった人を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。
- c. 年齢は Wilcoxon の順位和検定を、その他の変数にはカイ二乗検定もしくは Fisher の正確性検定を行った。
- d. 問 4 において、「良くない」または「あまり良くない」と答えた人を「不良である」とした。
- e. 問 5 において 6 項目の質問それぞれについて「全くない」を 0 点、「少しだけ」を 1 点、「ときどき」を 2 点、「たいてい」を 3 点、「いつも」を 4 点として合計得点とした。
- f. 統計的に有意な差があったもの($p < 0.05$)に*を付した。
(なお、複数回答については多重比較となるためボンフェローニによる補正を行い、その結果、有意水準未満となったもの(「相談しにくい内容の上位 5 位」において $p < 0.01$)を統計的に有意な差があったと認めることとしたが、この表では該当するものはなかった。)

表 5-2 震災後の転居経験者の経済状況と震災前との比較(年齢別、性別)

			男性			女性		
経済状況に関する質問項目 (N=1,178 ^b 人)			転居経験 あり ^a (N=74)	転居経験 なし (N=156)	P ^c	転居経験 あり ^a (N=197)	転居経験 なし (N=751)	P ^c
全体		現在苦しい ^d (問 10)	10 (14%)	26 (17%)	0.539	30 (15%)	75 (10%)	0.037
		震災前に比べて苦 しくなった(問 11)	29 (39%)	39 (25%)	0.028	79 (40%)	152 (20%)	<0.001
44 歳未 満	男 性 N=52	現在苦しい(問 10)	4 (15%)	8 (32%)	0.193	12 (20%)	20 (15%)	0.363
	女 性 N=192	震災前に比べて苦 しくなった(問 11)	7 (26%)	6 (24%)	1.000	17 (29%)	24 (18%)	0.093
45 - 59 歳	男 性 N=67	現在苦しい(問 10)	1 (6%)	6 (12%)	0.669	10 (13%)	34 (12%)	0.703
	女 性 N=365	震災前に比べて苦 しくなった(問 11)	8 (47%)	13 (26%)	0.135	32 (43%)	62 (21%)	<0.001
60 歳以 上	男 性 N=111	現在苦しい(問 10)	5 (17%)	12 (15%)	0.774	8 (13%)	21 (6%)	0.110
	女 性 N=391	震災前に比べて苦 しくなった(問 11)	14 (47%)	20 (25%)	0.026	30 (48%)	66 (20%)	<0.001

- a. 問 12 において震災後、1回以上転居したと回答した人(問 12 の選択肢 2～5 を選んだ人)を転居経験有とした。
- b. 転居経験の有無及び年齢を回答した人(1,178 人)のうち、この表で集計対象としたその他の問で無回答であった人を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。
- c. カイ二乗検定もしくは Fisher の正確性検定により比較した。
- d. 問 10 において現在の暮らしの状況を「大変苦しい」または「苦しい」と答えた人を「現在苦しい」とした。

表6 震災後の転居経験者が心に負担感を感じていることで人に相談しにくいこと(年齢別、性別)

心の負担感に関する質問項目 (N=1,178 ^b 人)				男性			女性		
				転居経験あり ^a (N=74)	転居経験なし (N=156)	P ^c	転居経験あり ^a (N=197)	転居経験なし (N=751)	P ^c
全体	男 性 N=245 女 性 N=1,018	人に相談しにくいことの有無(問 17)	相談しにくいことがある	37 (51%)	64 (41%)	0.147	136 (69%)	433 (58%)	0.004*
		(相談しにくい内容:複数回答) (問 18)	仕事	16 (42%)	22 (34%)	0.435	41 (30%)	118 (27%)	0.528
			家族	9 (24%)	17 (26%)	0.747	62 (45%)	191 (43%)	0.789
			自分の健康	8 (21%)	19 (30%)	0.339	40 (29%)	106 (24%)	0.261
			経済的な問題	8 (21%)	22 (34%)	0.153	40 (29%)	82 (19%)	0.010
			住居	3 (8%)	4 (6%)	0.522	21 (15%)	20 (5%)	<0.001*
			育児や教育	1 (3%)	3 (5%)	1.000	8 (6%)	20 (5%)	0.558
			周囲との人間関係	13 (34%)	11 (17%)	0.050	28 (20%)	110 (25%)	0.247
			介護	2 (5%)	5 (8%)	1.000	12 (9%)	52 (12%)	0.300
			その他	4 (11%)	2 (3%)	0.192	26 (19%)	44 (10%)	0.006
44歳未満	男 性 N=52 女 性 N=192	人に相談しにくいことの有無(問 17)	相談しにくいことがある	14 (52%)	15 (60%)	0.554	45 (78%)	84 (64%)	0.058
		(相談しにくい内容:複数回答) (問 18)	仕事	8 (57%)	9 (60%)	1.000	18 (39%)	33 (39%)	0.973
			家族	3 (21%)	4 (27%)	1.000	15 (33%)	35 (41%)	0.335
			自分の健康	3 (21%)	4 (27%)	1.000	16 (35%)	24 (28%)	0.437
			経済的な問題	2 (14%)	8 (53%)	0.050	11 (24%)	16 (19%)	0.492
			住居	0 (0%)	1 (7%)	d	6 (13%)	3 (4%)	0.066
			育児や教育	1 (7%)	1 (7%)	1.000	5 (11%)	9 (11%)	1.000
			周囲との人間関係	8 (57%)	3 (20%)	0.060	11 (24%)	30 (35%)	0.180
			介護	0 (0%)	0 (0%)	d	3 (7%)	2 (2%)	0.344
			その他	2 (14%)	1 (7%)	0.598	10 (22%)	7 (8%)	0.053
45-59歳	男 性 N=67 女 性 N=365	人に相談しにくいことの有無(問 17)	相談しにくいことがある	12 (71%)	28 (56%)	0.394	51 (69%)	182 (64%)	0.397
		(相談しにくい内容:複数回答) (問 18)	仕事	8 (67%)	13 (46%)	0.311	18 (35%)	70 (38%)	0.690
			家族	2 (17%)	4 (14%)	1.000	25 (48%)	86 (46%)	0.814
			自分の健康	3 (25%)	6 (21%)	1.000	18 (34%)	39 (21%)	0.041
			経済的な問題	4 (33%)	8 (29%)	1.000	17 (33%)	32(17%)	0.015
			住居	3 (25%)	2 (7%)	0.149	9 (17%)	8 (4%)	0.003*
			育児や教育	0 (0%)	2 (7%)	d	3 (6%)	8 (4%)	0.709
			周囲との人間関係	3 (25%)	5 (18%)	0.677	11 (21%)	43 (23%)	0.765
			介護	2 (17%)	2 (7%)	0.570	6 (12%)	26 (14%)	0.819
			その他	1 (8%)	1 (4%)	0.515	10 (19%)	16 (9%)	0.030
60歳以上	男 性 N=111 女 性 N=391	人に相談しにくいことの有無(問 17)	相談しにくいことがある	11 (38%)	20 (25%)	0.174	24 (39%)	160 (49%)	0.128
		(相談しにくい内容:複数回答) (問 18)	仕事	0 (0%)	0 (0%)	d	3 (8%)	13 (8%)	1.000
			家族	4 (33%)	9 (45%)	0.713	21 (54%)	70 (42%)	0.167
			自分の健康	2 (17%)	8 (40%)	0.248	5 (13%)	43 (26%)	0.096
			経済的な問題	2 (17%)	6 (30%)	0.676	10 (26%)	34 (20%)	0.457
			住居	0 (0%)	1 (5%)	d	5 (13%)	9 (5%)	0.147
			育児や教育	0 (0%)	0 (0%)	d	0 (0%)	3 (2%)	d
			周囲との人間関係	2 (17%)	3 (15%)	1.000	4 (10%)	36 (21%)	0.175
			介護	0 (0%)	3 (15%)	d	3 (8%)	24 (14%)	0.427
			その他	1 (8%)	0 (0%)	d	6 (15%)	21 (13%)	0.604

- a. 問 12 において震災後、1回以上転居したと回答した人(問 12 の選択肢 2～5 を選んだ人)を転居経験有とした。
- b. 転居経験の有無及び年齢を回答した人(1,178 人)のうち、この表で集計対象としたその他の問で無回答であった人を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。
- c. カイ二乗検定もしくは Fisher の正確性検定により比較した。
- d. セル内の観察数に0が含まれるため、検定しなかった。
- e. 統計的に有意な差があったもの($p < 0.05$)に*を付した。
(なお、複数回答については多重比較となるためボンフェローニによる補正を行い、その結果、有意水準未満となったもの(「相談しにくい内容」において $p < 0.006$) を統計的に有意な差があったと認め、*を付した。)

表7 震災後の転居経験の有無と生活満足度(年齢別、性別)

全 体 (N=1,178 ^b 人)							
生活満足度に関する質問項目		男性			女性		
		転居経験 あり ^a (N=74)	転居経験 なし (N=156)	P ^c	転居経験 あり ^a (N=197)	転居経験 なし (N=751)	P ^c
生活満足度 (問 29)	高い(8点以上)	20 (27%)	53 (34%)	0.177	45 (23%)	261 (35%)	<0.001*
	中程度(6－7点)	19 (26%)	49 (32%)		53 (27%)	235 (32%)	
	低い(5点以下)	34 (47%)	52 (34%)		96 (50%)	243 (33%)	
満足度判断の基準 (複数回答) (問 30)	自分の理想との比較	45 (63%)	87 (57%)	0.356	111 (58%)	449 (61%)	0.333
	他人との比較	10 (14%)	19 (12%)	0.730	18 (9%)	80 (11%)	0.520
	過去の自分との比較	21 (30%)	42 (27%)	0.742	60 (31%)	212 (29%)	0.564
	将来への期待・不安	39 (55%)	74 (48%)	0.361	117 (61%)	380 (52%)	0.031
満足度を判断する際 に重視した事項 (複数回答) (問 31)	家計の状況 (所得・消費)	40 (56%)	101 (66%)	0.147	112 (58%)	490 (67%)	0.025
	就業状況 (仕事の有無・安定)	21 (29%)	41 (27%)	0.690	52 (27%)	181 (25%)	0.509
	健康状況	39 (54%)	106 (69%)	0.032	117 (61%)	515 (70%)	0.012
	自由な時間	20 (28%)	47 (31%)	0.674	61 (32%)	255 (35%)	0.420
	充実した余暇	16 (22%)	36 (23%)	0.848	46 (24%)	189 (26%)	0.593
	仕事の充実度	29 (40%)	46 (30%)	0.122	65 (34%)	196 (27%)	0.054
	精神的なゆとり	39 (54%)	81 (53%)	0.826	104 (54%)	367 (50%)	0.328
	趣味、社会貢献などの 生きがい	30 (42%)	61 (40%)	0.769	60 (31%)	291 (40%)	0.030
	家族関係	23 (32%)	78 (61%)	0.008	96 (50%)	430 (58%)	0.029
	友人関係	24 (33%)	42 (27%)	0.351	71 (37%)	301 (41%)	0.293
	職場の人間関係	24 (3%)	28 (18%)	0.012	35 (18%)	139 (19%)	0.806
	地域とのつながりや 交流	29 (40%)	50 (32%)	0.251	47 (24%)	180 (24%)	0.968
満足度を高めるため に有効な手立て (複数回答) (問 32)	自分自身の努力	53 (75%)	105 (68%)	0.324	124 (65%)	462 (63%)	0.659
	家族との助け合い	36 (51%)	102 (66%)	0.026	129 (67%)	496 (67%)	0.938
	友人や仲間との 助け合い	27 (38%)	59 (38%)	0.968	73 (38%)	339 (46%)	0.044
	社会 (地域住民、NPO 等) との助け合い	14 (20%)	23 (15%)	0.368	16 (8%)	72 (10%)	0.538
	職場からの支援	5 (7%)	8 (85%)	0.581	14 (7%)	37 (5%)	0.222
	政府からの支援	8 (11%)	7 (5%)	0.060	31 (16%)	49 (7%)	<0.001*

44歳未満 (N=244)							
生活満足度に関する質問項目		男性			女性		
		転居経験あり ^a (N=27)	転居経験なし (N=25)	P ^c	転居経験あり ^a (N=59)	転居経験なし (N=133)	P ^c
生活満足度 (問 29)	高い(8点以上)	10 (37%)	7 (28%)	0.241	9 (16%)	31 (24%)	0.256
	中程度(6－7点)	4 (15%)	9 (36%)		18 (31%)	45 (35%)	
	低い(5点以下)	13 (48%)	9 (36%)		31 (53%)	53 (41%)	
満足度判断の基準 (複数回答) (問 30)	自分の理想との比較	19 (73%)	16 (64%)	0.555	39 (67%)	99 (76%)	0.201
	他人との比較	5 (19%)	4 (16%)	1.000	7 (12%)	13 (10%)	0.798
	過去の自分との比較	6 (23%)	7 (28%)	0.755	24 (41%)	25 (19%)	0.001*
	将来への期待・不安	14 (54%)	12 (48%)	0.676	32 (55%)	73 (56%)	0.900
満足度を判断する際に重視した事項 (複数回答) (問 31)	家計の状況 (所得・消費)	12 (44%)	16 (64%)	0.177	31 (53%)	84 (65%)	0.147
	就業状況 (仕事の有無・安定)	12 (44%)	12 (48%)	0.797	16 (28%)	52 (40%)	0.102
	健康状況	12 (44%)	15 (60%)	0.262	28 (48%)	78 (60%)	0.134
	自由な時間	10 (37%)	7 (28%)	0.562	13 (22%)	26 (20%)	0.706
	充実した余暇	5 (19%)	8 (32%)	0.343	16 (28%)	35 (27%)	0.925
	仕事の充実度	16 (59%)	10 (40%)	0.165	27 (47%)	49 (38%)	0.253
	精神的なゆとり	16 (59%)	17 (68%)	0.513	41 (71%)	74 (57%)	0.074
	趣味、社会貢献などの生きがい	13 (48%)	8 (32%)	0.236	18 (31%)	43 (33%)	0.782
	家族関係	11 (41%)	13 (52%)	0.416	26 (45%)	73 (56%)	0.151
	友人関係	11 (41%)	6 (24%)	0.245	23 (40%)	51 (39%)	0.956
	職場の人間関係	15 (56%)	8 (32%)	0.103	16 (28%)	41 (32%)	0.586
	地域とのつながりや交流	7 (26%)	4 (16%)	0.503	13 (22%)	14 (11%)	0.035
満足度を高めるために有効な手立て (複数回答) (問 32)	自分自身の努力	19 (73%)	17 (68%)	0.764	35 (63%)	91 (70%)	0.316
	家族との助け合い	12 (46%)	15 (60%)	0.322	31 (55%)	75 (58%)	0.768
	友人や仲間との助け合い	11 (42%)	9 (36%)	0.776	27 (48%)	55 (42%)	0.457
	社会 (地域住民、NPO 等)との助け合い	3 (12%)	4 (16%)	0.703	5 (9%)	6 (5%)	0.311
	職場からの支援	5 (19%)	4 (16%)	1.000	8 (14%)	14 (11%)	0.471
	政府からの支援	3 (12%)	3 (12%)	1.000	7 (13%)	7 (5%)	0.127

45－59 歳未満 (N=432)							
生活満足度に関する質問項目		男性			女性		
		転居経験 あり ^a (N=17)	転居経験 なし (N=50)	P ^c	転居経験 あり ^a (N=75)	転居経験 なし (N=290)	P ^c
生活満足度 (問 29)	高い(8点以上)	3 (18%)	18 (37%)	0.312	20 (27%)	98 (34%)	0.115
	中程度(6－7点)	5 (29%)	14 (29%)		19 (25%)	90 (31%)	
	低い(5点以下)	9 (53%)	17 (35%)		36 (48%)	101 (35%)	
満足度判断の基準 (複数回答) (問 30)	自分の理想との比較	8 (47%)	30 (61%)	0.396	46 (61%)	169 (59%)	0.701
	他人との比較	1 (6%)	8 (16%)	0.427	5 (7%)	37 (13%)	0.159
	過去の自分との比較	7 (41%)	9 (18%)	0.098	16 (21%)	85 (30%)	0.154
	将来への期待・不安	13 (76%)	29 (59%)	0.251	43 (57%)	147 (51%)	0.345
満足度を判断する際 に重視した事項 (複数回答) (問 31)	家計の状況 (所得・消費)	11 (65%)	31 (63%)	1.000	46 (61%)	201 (70%)	0.138
	就業状況 (仕事の有無・安定)	4 (24%)	19 (39%)	0.377	27 (36%)	93 (33%)	0.569
	健康状況	6 (35%)	34 (69%)	0.021	49 (65%)	205 (72%)	0.284
	自由な時間	3 (18%)	9 (18%)	1.000	25 (33%)	92 (32%)	0.848
	充実した余暇	5 (29%)	7 (14%)	0.271	20 (27%)	68 (24%)	0.604
	仕事の充実度	7 (41%)	19 (39%)	1.000	23 (31%)	97 (34%)	0.595
	精神的なゆとり	11 (65%)	27 (55%)	0.576	42 (56%)	142 (50%)	0.328
	趣味、社会貢献などの 生きがい	4 (24%)	15 (31%)	0.759	23 (31%)	94 (33%)	0.717
	家族関係	5 (29%)	24 (49%)	0.257	43 (57%)	176 (62%)	0.507
	友人関係	5 (29%)	12 (24%)	0.752	26 (35%)	106 (37%)	0.701
	職場の人間関係	6 (35%)	15 (31%)	0.767	13 (17%)	67 (23%)	0.258
	地域とのつながりや 交流	7 (41%)	10 (20%)	0.114	21 (28%)	57 (20%)	0.131
満足度を高めるため に有効な手立て (複数回答) (問 32)	自分自身の努力	12 (71%)	36 (73%)	1.000	52 (69%)	173 (60%)	0.141
	家族との助け合い	8 (47%)	27 (55%)	0.587	52 (69%)	203 (70%)	0.846
	友人や仲間との助け 合い	8 (47%)	15 (31%)	0.249	26 (35%)	127 (44%)	0.141
	社会 (地域住民、NPO 等) との助け合い	3 (18%)	8 (16%)	1.000	4 (5%)	23 (8%)	0.621
	職場からの支援	0 (0%)	4 (8%)	d	4 (5%)	17 (6%)	1.000
	政府からの支援	1 (6%)	4 (8%)	1.000	13 (17%)	20 (7%)	0.005*

60歳以上 (N=502)							
生活満足度に関する質問項目		男性			女性		
		転居経験あり ^a (N=30)	転居経験なし (N=81)	P ^c	転居経験あり ^a (N=63)	転居経験なし (N=328)	P ^c
生活満足度 (問 29)	高い(8点以上)	7 (24%)	28 (35%)	0.544	16 (26%)	132 (41%)	0.007*
	中程度(6－7点)	10 (34%)	26 (33%)		16 (26%)	100 (31%)	
	低い(5点以下)	12 (41%)	26 (33%)		29 (48%)	89 (28%)	
満足度判断の基準 (複数回答) (問 30)	自分の理想との比較	18 (64%)	41(52%)	0.257	26 (43%)	181 (58%)	0.044
	他人との比較	4 (14%)	7 (9%)	0.473	6 (10%)	30 (10%)	0.815
	過去の自分との比較	8 (29%)	26 (33%)	0.814	20 (33%)	102 (32%)	0.885
	将来への期待・不安	12 (43%)	33 (42%)	0.920	42 (70%)	160 (51%)	0.006
満足度を判断する際に重視した事項 (複数回答) (問 31)	家計の状況(所得・消費)	17 (61%)	54 (68%)	0.515	35 (58%)	205 (64%)	0.382
	就業状況(仕事の有無・安定)	5 (18%)	10 (13%)	0.530	9 (15%)	36 (11%)	0.390
	健康状況	21 (75%)	57 (71%)	0.809	40 (67%)	232 (73%)	0.339
	自由な時間	7 (25%)	31 (39%)	0.252	23 (38%)	137 (43%)	0.507
	充実した余暇	6 (21%)	21 (26%)	0.801	10 (17%)	86 (27%)	0.093
	仕事の充実度	6 (21%)	17 (21%)	1.000	15 (25%)	50 (16%)	0.079
	精神的なゆとり	12 (43%)	37 (46%)	0.756	21 (35%)	151 (47%)	0.078
	趣味、社会貢献などの生きがい	13 (46%)	38 (48%)	0.922	19 (32%)	154 (48%)	0.018
	家族関係	7 (25%)	41 (51%)	0.026	27 (45%)	181 (57%)	0.094
	友人関係	8 (29%)	24 (30%)	1.000	22 (37%)	144 (45%)	0.225
	職場の人間関係	3 (11%)	5 (6%)	0.425	6 (10%)	31 (10%)	1.000
	地域とのつながりや交流	15 (54%)	36 (45%)	0.434	13 (22%)	109 (34%)	0.057
満足度を高めるために有効な手立て (複数回答) (問 32)	自分自身の努力	22 (79%)	52 (65%)	0.239	37 (61%)	198 (62%)	0.790
	家族との助け合い	16 (57%)	60 (75%)	0.075	46 (75%)	218 (69%)	0.301
	友人や仲間との助け合い	8 (29%)	35 (44%)	0.184	20 (33%)	157 (50%)	0.016
	社会(地域住民、NPO 等)との助け合い	8 (29%)	11 (14%)	0.089	7 (11%)	43 (14%)	0.837
	職場からの支援	0 (0%)	0 (0%)	d	2 (3%)	6 (2%)	0.620
	政府からの支援	4 (14%)	0 (0%)	d	11 (18%)	22 (7%)	0.005*

- a. 問 12 において震災後、1回以上転居したと回答した人(問 12 の選択肢 2～5 を選んだ人)を転居経験有とした。
- b. 転居経験の有無及び年齢を回答した人(1,178 人)のうち、この表で集計対象としたその他の問で無回答であった人を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。
- c. カイ二乗検定もしくは Fisher の正確性検定により比較した。
- d. セル内の観察数に0が含まれるため、検定しなかった。
- e. 統計的に有意な差があったもの(p<0.05)に*を付した。
(なお、複数回答については多重比較となるためボンフェローニによる補正を行い、その結果、有意水準未滿となったもの(「満足度判断の基準」において p<0.0125、「満足度を判断する際に重視した事項」において p<0.0042、「満足度を高めるために有効な手立て」において p<0.0083)を統計的に有意な差があったと認め*を付した。)

表8 支援経験の有無と健康状態、経済状況、地域のつながり、生活満足度等との関わり(性別)

年齢、健康状態、経済状況等に関する質問項目 (N=1,235 ^b 人)		男性			女性		
		支援経験 あり ^a (N=139)	支援経験 なし (N=105)	P ^c	支援経験 あり ^a (N=588)	支援経験 なし (N=403)	P ^c
年齢(中央値、25－75%値)(問 2)		59 (46－66)	60 (46－68)	0.585	57 (46－65)	57 (48－65)	0.636
一般健康状態(不良である) ^d (問 4)		24 (17%)	27 (26%)	0.100	97 (17%)	84 (21%)	0.091
心の健康状態(K6 合計点) ^e (問 5)	4 点以下	74 (54%)	47 (48%)	0.390	306 (54%)	161 (42%)	0.002*
	5～9 点	44 (32%)	31 (32%)		169 (30%)	136 (36%)	
	10 点以上	19 (14%)	20 (20%)		92 (16%)	84 (22%)	
人に相談しにくいことの有無(問 17)		59 (43%)	44 (42%)	0.829	340 (58%)	237 (61%)	0.465
(相談しにくい内容:複数回答、上位 5 つ) (問 18)	仕事	20 (32%)	19 (42%)	0.264	104 (30%)	55 (22%)	0.028
	家族	18 (29%)	8 (18%)	0.255	149 (43%)	107 (43%)	0.949
	自分の健康	15 (24%)	12 (27%)	0.735	82 (24%)	68 (27%)	0.331
	経済的な問題	20 (32%)	12 (27%)	0.569	68 (20%)	54 (22%)	0.561
	周囲との人間関係	14 (22%)	10 (22%)	1.000	88 (25%)	53 (21%)	0.230
経済状況	現在苦しい ^f (問 10)	21 (15%)	15 (14%)	0.858	60 (10%)	51 (13%)	0.229
	震災前に比べて苦しくなった(問 11)	39 (28%)	30 (29%)	0.930	139 (24%)	96 (24%)	0.947
地域のつながりが強い(総合得点 9 点 ≤) ^g (問 25～28)		125 (90%)	90 (86%)	0.314	526 (89%)	338 (84%)	0.010*
生活満足度 (問 29)	高い(8点以上)	44 (32%)	30 (29%)	0.655	213 (37%)	114 (29%)	<0.001*
	中程度(6－7点)	40 (29%)	36 (35%)		192 (33%)	104 (27%)	
	低い(5点以下)	52 (38%)	37 (36%)		172 (30%)	175 (45%)	

- a. 問3において被災者支援活動経験ありと回答した人。
- b. 支援経験の有無を回答した人(1,235 人)のうち、この表で集計対象としたその他の問で無回答であった人を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。
- c. 年齢は Wilcoxon の順位和検定を、その他の変数にはカイ二乗検定もしくは Fisher の正確性検定を行った。
- d. 問4において「良くない」または「あまり良くない」と答えた人を「不良である」とした。
- e. 問 5 において 6 項目の質問それぞれについて「全くない」を 0 点、「少しだけ」を 1 点、「ときどき」を 2 点、「たいてい」を 3 点、「いつも」を 4 点として合計得点とした。
- f. 問 10 において「大変苦しい」または「苦しい」と答えた人を「現在苦しい」とした。
- g. 問 25～28 において「強くそう思う」を 4 点、「どちらかと言えばそう思う」を 3 点、「どちらともいえない」を 2 点、「どちらかと言えばそう思わない」を 1 点、「全くそう思わない」を 0 点とし、各問の合計を総合得点とした。
- h. 統計的に有意な差があったもの(p<0.05)に*を付した。
(なお、複数回答については多重比較となるためボンフェローニによる補正を行い、その結果、有意水準未満となったもの(「相談しにくい内容の上位 5 位」において p<0.01)を統計的に有意な差があったと認めることとしたが、この表では該当するものはなかった。)

表9 地域とのつながりの強さと心身健康状態、生活満足度等との関わり(性別)

年齢、健康状態、生活満足度等に関する質問項目 (N=1,263 ^b 人)		男性			女性		
		つながり 弱い ^a N=29	強い ^a N=216	P ^c	つながり 弱い ^a N=130	強い ^a N=888	P ^c
年齢(中央値、25－75%値)(問 2)		51 (42－64)	60 (47－67)	0.0957	57 (45－63)	57 (47－65)	0.2073
一般健康状態(不良である) ^d (問 4)		9 (32%)	42 (19%)	0.139	44 (34%)	142 (16%)	<0.001*
心の健康状態(K6 合計点) ^e (問 5)	4 点以下	6 (24%)	116 (55%)	0.002*	36 (30%)	444 (52%)	<0.001*
	5～9 点	9 (36%)	66 (31%)		36 (30%)	276 (32%)	
	10 点以上	10 (40%)	29 (14%)		50 (41%)	130 (15%)	
人に相談しにくいことの有無(問 17)		18 (67%)	85 (40%)	0.012*	92 (75%)	499 (57%)	<0.001*
(相談しにくい内容:複数回答、上位 5 つ)(問 18)	仕事	9 (45%)	30 (34%)	0.441	22 (22%)	140 (27%)	0.291
	家族	3 (15%)	23 (26%)	0.392	43 (43%)	222 (43%)	0.989
	自分の健康	5 (25%)	22 (25%)	1.000	32 (32%)	120 (23%)	0.061
	経済的な問題	8 (40%)	24 (27%)	0.285	21 (21%)	107 (21%)	0.944
	周囲との人間関係	7 (35%)	17 (19%)	0.143	31 (31%)	111 (22%)	0.038
経済状況	現在苦しい ^f (問 10)	8 (28%)	28 (13%)	0.049*	19 (15%)	94 (11%)	0.172
	震災前に比べて苦しくなった(問 11)	13 (45%)	56 (26%)	0.034*	41 (32%)	199 (22%)	0.022*
生活満足度(問 29)	高い(8点以上)	4 (15%)	70 (33%)	<0.001*	15 (13%)	320 (36%)	<0.001*
	中程度(6－7点)	3 (12%)	73 (34%)		24 (21%)	281 (32%)	
	低い(5点以下)	19 (73%)	71 (33%)		76 (66%)	280 (32%)	
支援活動経験(問 3)	ある	14 (48%)	125 (58%)	0.572	62 (49%)	526 (61%)	0.030*
	なし	11 (38%)	66 (31%)		46 (36%)	250 (29%)	
	やりたい	4 (14%)	24 (11%)		19 (15%)	88 (10%)	

- a. 問 25～28 において「強くそう思う」を4点、「どちらかと言えばそう思う」を3点、「どちらともいえない」を2点、「どちらかと言えばそう思わない」を1点、「全くそう思わない」を0点とし、得られた各問の合計総合得点が9点未満を「つながりが弱い」、9点以上を「つながりが強い」と定義した。
- b. 上記定義に基づく「地域とのつながり」に回答した人(1,263人)のうち、この表で集計対象としたその他の問で無回答であった人を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。
- c. 年齢は Wilcoxon の順位和検定を、その他の変数にはカイ二乗検定もしくは Fisher の正確性検定を行った。
- d. 問4において「良くない」または「あまり良くない」と答えた人を「不良である」とした。
- e. 問 5 において 6 項目の質問それぞれについて「全くない」を0点、「少しだけ」を1点、「ときどき」を2点、「たいてい」を3点、「いつも」を4点として合計得点とした。
- f. 問 10 において「大変苦しい」または「苦しい」と答えた人を「現在苦しい」とした。
- g. 統計的に有意な差があったもの(p<0.05)に*を付している。
(なお、複数回答については多重比較となるためボンフェローニによる補正を行い、その結果、有意水準未満となったもの(「相談しにくい内容の上位 5 位」において p<0.01)を統計的に有意な差があったと認めることとしたが、この表では該当するものはなかった。)

表 10 生活満足度と心身の健康状態等との関わり(性別)

年齢、健康状態等に関する質問項目 (N=1,236 ^b 人)		男性			女性			
		満足でない ^a N=90	他(満足度 中程度以上) ^a N=150	P ^c	満足でない ^a N=356	他(満足度 中程度以上) ^a N=640	P ^c	
年齢(歳、中央値、25－75%値)(問 2)		57 (44－68)	60 (47－67)	0.4643	54 (45－64)	58 (48－65)	0.0007*	
一般健康状態(不良である) ^d (問 4)		27 (30%)	24 (16%)	0.009*	113 (32%)	67 (11%)	<0.001*	
心の健康状態 (K6 合計点) ^e (問 5)	4 点以下	27 (32%)	92 (62%)	<0.001*	85 (26%)	388 (62%)	<0.001*	
	5～9 点	32 (38%)	43 (29%)		129 (39%)	177 (29%)		
	10 点以上	26 (31%)	13 (9%)		119 (36%)	56 (9%)		
人に相談しにくいことの有無 (問 17)		相談しにくいことがある	51 (57%)	52 (35%)	0.001*	263 (75%)	318 (50%)	<0.001*
(相談しにくい内容: 複数回答、上位 5 つ) (問 18)	仕事	23 (44%)	16 (30%)	0.137	81 (30%)	79 (24%)	0.097	
	家族	8 (15%)	18 (34%)	0.027	124 (46%)	138 (42%)	0.320	
	自分の健康	17 (33%)	10 (19%)	0.105	88 (33%)	60 (18%)	<0.001*	
	経済的な問題	22 (42%)	10 (19%)	0.009*	78 (29%)	49 (15%)	<0.001*	
	周囲との人間関係	13 (25%)	11 (21%)	0.604	68 (25%)	73 (22%)	0.384	

- a. 問 29 において0点～5点を選択した人を「満足でない」、6点以上を選択した人を「他(満足度中程度以上)」とした。
- b. 生活満足度に回答した人(1,236 人)のうち、この表で集計対象としたその他の問で無回答であった人を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。
- c. 年齢は Wilcoxon の順位和検定を、その他の変数にはカイ二乗検定もしくは Fisher の正確性検定を行った。
- d. 問4において「良くない」または「あまり良くない」と答えた人を「不良である」とした。
- e. 問 5 において 6 項目の質問それぞれについて「全くない」を 0 点、「少しだけ」を 1 点、「ときどき」を 2 点、「たいてい」を 3 点、「いつも」を 4 点として合計得点とした。
- f. 統計的に有意な差があったもの(p<0.05)に*を付した。
(なお、複数回答については多重比較となるためボンフェローニによる補正を行い、その結果、有意水準未満となったもの(「相談しにくい内容の上位 5 位」において p<0.01)を統計的に有意な差があったと認め、*を付した。)

表 11 震災後の転居経験者の状況 (一部再掲あり) (年齢別、性別)

44 歳未満 (N=244)								
年齢、健康状態、 支援活動の有無等に関する質問項目			男性			女性		
			転居 経 験あり ^a (N=27)	転居 経 験なし (N=25)	P ^c	転居 経 験あり ^a (N=59)	転居 経 験なし (N=133)	P ^c
健康状態	一般健康状態が不良である ^d (問 4)		8 (30%)	6 (25%)	0.762	15 (25%)	29 (22%)	0.619
	心の健康状態が不良である(K6 合計 点 5 点以上) ^e (問 5)		19 (70%)	11 (46%)	0.094	36 (61%)	70 (53%)	0.281
	人に相談しにくいことがある (問 17)		14 (52%)	15 (60%)	0.554	45 (78%)	84 (64%)	0.058
	(相談しにくい内容: 複数回答) (問 18)	仕事	8 (57%)	9 (60%)	1.000	18 (39%)	33 (39%)	0.973
		家族	3 (21%)	4 (27%)	1.000	15 (33%)	35 (41%)	0.335
		自分の健康	3 (21%)	4 (27%)	1.000	16 (35%)	24 (28%)	0.437
		経済的な問題	2 (14%)	8 (53%)	0.050	11 (24%)	16 (19%)	0.492
		住居	0 (0%)	1 (7%)	1.000	6 (13%)	3 (4%)	0.066
		育児や教育	1 (7%)	1 (7%)	1.000	5 (11%)	9 (11%)	1.000
		周囲との人間 関係	8 (57%)	3 (20%)	0.060	11 (24%)	30 (35%)	0.180
		介護	0 (0%)	0 (0%)	値なし	3 (7%)	2 (2%)	0.344
		その他	2 (14%)	1 (7%)	0.598	10 (22%)	7 (8%)	0.053
経済状況	現在苦しい ^f (問 10)		4 (15%)	8 (32%)	0.193	12 (20%)	20 (15%)	0.363
	震災前に比べて苦しくなった(問 11)		7 (26%)	6 (24%)	1.000	17 (29%)	24 (18%)	0.093
生活満足度 (問 29)	高い(8点以上)		10 (37%)	7 (28%)	0.241	9 (16%)	31 (24%)	0.256
	中程度(6－7点)		4 (15%)	9 (36%)		18 (31%)	45 (35%)	
	低い(5点以下)		13 (48%)	9 (36%)		31 (53%)	53 (41%)	
	満足度を高めるた めに有効な手立て (複数回答) (問 32)	自分自身の 努力	19 (73%)	17 (68%)	0.764	35 (63%)	91 (70%)	0.316
		家族との助け 合い	12 (46%)	15 (60%)	0.322	31 (55%)	75 (58%)	0.768
		友人や仲間と の助け合い	11 (42%)	9 (36%)	0.776	27 (48%)	55 (42%)	0.457
地域のつな がり (問 25 ～28)	強い (総合得点 9 点≦)		23 (85%)	19 (76%)	0.492	48 (81%)	112 (84%)	0.624
支援活動 (問 12)	経験有		17 (63%)	12 (48%)	0.278	45 (76%)	79 (60%)	0.028*

45-59 歳未満 (N=432)								
年齢、健康状態、 支援活動の有無等に関する質問項目			男性			女性		
			転居経験あり ^a (N=17)	転居経験なし (N=50)	P ^c	転居経験あり ^a (N=75)	転居経験なし (N=290)	P ^c
健康状態	一般健康状態が不良である ^d (問 4)		5 (29%)	8 (16%)	0.289	20 (27%)	45 (16%)	0.024*
	心の健康状態が不良である(K6 合計点 5 点以上) ^e (問 5)		11 (69%)	20 (42%)	0.085	43 (58%)	160 (56%)	0.761
	人に相談しにくいことがある(問 17)		12 (71%)	28 (56%)	0.394	51 (69%)	182 (64%)	0.397
	(相談しにくい内容: 複数回答) (問 18)	仕事	8 (67%)	13 (46%)	0.311	18 (35%)	70 (38%)	0.690
		家族	2 (17%)	4 (14%)	1.000	25 (48%)	86 (46%)	0.814
		自分の健康	3 (25%)	6 (21%)	1.000	18 (34%)	39 (21%)	0.041
		経済的な問題	4 (33%)	8 (29%)	1.000	17 (33%)	32(17%)	0.015
		住居	3 (25%)	2 (7%)	0.149	9 (17%)	8 (4%)	0.003*
		育児や教育	0 (0%)	2 (7%)	1.000	3 (6%)	8 (4%)	0.709
		周囲との人間関係	3 (25%)	5 (18%)	0.677	11 (21%)	43 (23%)	0.765
		介護	2 (17%)	2 (7%)	0.570	6 (12%)	26 (14%)	0.819
その他		1 (8%)	1 (4%)	0.515	10 (19%)	16 (9%)	0.030	
経済状況	現在苦しい ^f (問 10)		1 (6%)	6 (12%)	0.669	10 (13%)	34 (12%)	0.703
	震災前に比べて苦しくなった(問 11)		8 (47%)	13 (26%)	0.135	32 (43%)	62 (21%)	<0.001*
生活満足度 (問 29)	高い(8点以上)		3 (18%)	18 (37%)	0.312	20 (27%)	98 (34%)	0.115
	中程度(6-7点)		5 (29%)	14 (29%)		19 (25%)	90 (31%)	
	低い(5点以下)		9 (53%)	17 (35%)		36 (48%)	101 (35%)	
	満足度を高めるために有効な手立て (複数回答) (問 32)	自分自身の努力	12 (71%)	36 (73%)	1.000	52 (69%)	173 (60%)	0.141
		家族との助け合い	8 (47%)	27 (55%)	0.587	52 (69%)	203 (70%)	0.846
		友人や仲間との助け合い	8 (47%)	15 (31%)	0.249	26 (35%)	127 (44%)	0.141
地域のつながり ^g (問 25-28)	強い(総合得点 9 点≦)		15 (88%)	43 (86%)	1.000	68 (91%)	253 (87%)	0.551
支援活動 (問 12)	経験有		10 (59%)	29 (58%)	1.000	41 (55%)	161 (57%)	0.730

60 歳以上 (N=502)								
年齢、健康状態、 支援活動の有無等に関する質問項目			男性			女性		
			転居経験あり ^a (N=30)	転居経験なし (N=81)	P ^c	転居経験あり ^a (N=63)	転居経験なし (N=328)	P ^c
健康状態	一般健康状態が不良である ^d (問 4)		8 (27%)	15 (19%)	0.430	19 (30%)	52 (16%)	0.008*
	心の健康状態が不良である (K6 合計点 5 点以上) ^e (問 5)		18 (64%)	30 (38%)	0.016*	35 (60%)	119 (40%)	0.003*
	人に相談しにくいことがある(問 17)		11 (38%)	20 (25%)	0.174	38 (61%)	165 (51%)	0.128
	(相談しにくい 内容: 複数回 答) (問 18)	仕事	0 (0%)	0 (0%)	値なし	3 (8%)	13 (8%)	1.000
		家族	4 (33%)	9 (45%)	0.713	21 (54%)	70 (42%)	0.167
		自分の健康	2 (17%)	8 (40%)	0.248	5 (13%)	43 (26%)	0.096
		経済的な問題	2 (17%)	6 (30%)	0.676	10 (26%)	34 (20%)	0.457
		住居	0 (0%)	1 (5%)	1.000	5 (13%)	9 (5%)	0.147
		育児や教育	0 (0%)	0 (0%)	値なし	0 (0%)	3 (2%)	1.000
		周囲との人間関係	2 (17%)	3 (15%)	1.000	4 (10%)	36 (21%)	0.175
		介護	0 (0%)	3 (15%)	0.274	3 (8%)	24 (14%)	0.427
その他	1 (8%)	0 (0%)	0.375	6 (15%)	21 (13%)	0.604		
経済状況	現在苦しい ^f (問 10)		5 (17%)	12 (15%)	0.774	8 (13%)	21 (6%)	0.110
	震災前に比べて苦しくなった(問 11)		14 (47%)	20 (25%)	0.026*	30 (48%)	66 (20%)	<0.001
生活満足度 (問 29)	高い(8点以上)		7 (24%)	28 (35%)	0.544	16 (26%)	132 (41%)	0.007*
	中程度(6－7点)		10 (34%)	26 (33%)		16 (26%)	100 (31%)	
	低い(5点以下)		12 (41%)	26 (33%)		29 (48%)	89 (28%)	
	満足度を高め るために有効 な手立て(複 数回答)(問 32)	自分自身の努力	22 (79%)	52 (65%)	0.239	37 (61%)	198 (62%)	0.790
		家族との助け合い	16 (57%)	60 (75%)	0.075	46 (75%)	218 (69%)	0.301
		友人や仲間との助 け合い	8 (29%)	35 (44%)	0.184	20 (33%)	157 (50%)	0.016*
地域のつな がり(問 25 ～28)	強い(総合得点 9 点≦)		24 (80%)	78 (96%)	0.011+*	49 (78%)	297 (91%)	0.004*
支援活動 (問 12)	経験有		17 (57%)	45 (56%)	0.969	26 (46%)	206 (64%)	0.007*

- a. 問 12 において震災後、1 回以上転居したと回答した人(問 12 の選択肢 2～5 を選んだ人)を転居経験ありとした。
- b. 転居経験の有無及び年齢を回答した人(1,178 人)のうち、この表で集計対象としたその他の問で無回答であった人を除いて集計しているため、各選択肢の合計が総数と一致しない場合がある。
- c. カイ二乗検定もしくは Fisher の正確性検定により比較した。
- d. 問 4 において「良くない」または「あまり良くない」と答えた人を「不良である」とした。
- e. 問 5 において 6 項目の質問それぞれについて「全くない」を 0 点、「少しだけ」を 1 点、「ときどき」を 2 点、「たいてい」を 3 点、「いつも」を 4 点として合計得点とした。
- f. 問 10 において「大変苦しい」または「苦しい」と答えた人を「現在苦しい」とした。
- g. 問 25～28 において「強くそう思う」を 4 点、「どちらかと言えばそう思う」を 3 点、「どちらともいえない」を 2 点、「どちらかと言えばそう思わない」を 1 点、「全くそう思わない」を 0 点とし、各問の合計を総合得点とした。
- h. 統計的に有意な差があったもの(p<0.05)に*を付した。
(なお、複数回答については多重比較となるためボンフェローニによる補正を行い、その結果、有意水準未満となったもの(「相談しにくい内容」において p<0.0056、「満足度を高めるために有効な手立て」において p<0.0167)を統計的に有意な差があったと認め、*を付した。)

2. サポートニーズ調査票

心の健康サポートニーズ調査

(アンケート調査)

(お願い)

このアンケートは、講演会に参加された方々を対象とした、心の健康状態と支援ニーズを知るための調査です。

本調査にご協力いただくかどうかはご本人の自由意志によるもので、ご参加いただかなくても支障はありません。また、この調査に個人情報含まれず、ご回答は個人が特定されない形で解析されますので、皆様にご迷惑のかかることはありません。

上記をご理解の上よろしければアンケート調査へのご協力をお願いいたします。

問1 あなたの性別を○で囲んでください。

- 1 男性 2 女性

問2 あなたの満年齢を記入してください。

満 歳

問3 被災者支援活動(ボランティア活動を含む)についておたずねします。当てはまるものに○を付けてください。

- 1 被災者支援活動の経験がある 2 被災者支援活動の経験はない
3 今後、ボランティアとして活動したい

【1】健康に関しておたずねします。

問4 健康状態はいかがですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 とても良い 2 まあ良い 3 あまり良くない 4 良くない

問5 こころの元気さについておたずねします。過去30日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。次のそれぞれの質問について、当てはまるもの1つに○を付けてください。

	1	2	3	4	5
(1) 神経過敏に感じましたか。	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
(2) 絶望的だと感じましたか。	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
(3) そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
(4) 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じましたか。	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
(5) 何をするのも骨折りだと感じましたか。	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
(6) 自分は価値のない人間だと感じましたか。	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも

問6 タバコとお酒についておたずねします。

1 吸っている 2 吸っていない

1 はい 2 いいえ

1 飲んでいる 2 飲んでいない

1 はい 2 いいえ

問14 あなたは現在、あなたを含めて何人暮らしをしていますか。数字を記入して下さい。

問15 いま一緒に暮らしているご家族について伺います。次のどちらにあたりますか。あてはまるものに○をつけてください。

- 1 単身である 2 同居の家族がいる

問16 問15で2を選んだ方に伺います。該当する構成員に○をつけてください(○はいくつでも)

- 1 配偶者 2 子ども(子どもの配偶者も含む)
3 親(配偶者の親も含む) 4 兄弟姉妹
5 祖父母 6 孫
7 それ以外

問17 あなたが心に負担感を感じていることで人に相談しにくいことはありますか？

1. ある 2. ない

問18 問17で1を選んだ方に伺います。それはどのような内容のことですか？(複数回答可)

1. 仕事 2. 家族 3. ご自身の健康 4. 経済的な問題
5. 住居 6. 育児や教育 7. 周囲との人間関係 8. 介護
9. その他()

【4】人とのつながりについておたずねします。

次のそれぞれの質問について、当てはまるもの1つに○を付けてください。

●ここでは家族や親戚などについて考えます。

問19 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする家族や親戚は何人いますか？

1. 0人 2. 1人 3. 2人
4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上

問20 あなたが、個人的なことでも話することができるくらい気楽に感じられる家族や親戚は何人いますか？

1. 0人 2. 1人 3. 2人
4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上

問21 あなたが、助けを求めることができるくらい親しく感じられる家族や親戚は何人いますか？

1. 0人 2. 1人 3. 2人
4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上

●ここでは近くに住んでいる人を含むあなたの友人全体について考えます。

問22 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする友人は何人いますか？

1. 0人 2. 1人 3. 2人
4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上

問23 あなたが、個人的なことでも話することができるくらい気楽に感じられる友人は何人いますか？

1. 0人 2. 1人 3. 2人
4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上

問24 あなたが、助けを求めることができるくらい親しく感じられる友人は何人いますか？

1. 0人 2. 1人 3. 2人
4. 3～4人 5. 5～8人 6. 9人以上

●ここでは周囲の状況について考えます。

問25 まわりの人々はお互いに助け合っている。

1. 強くそう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. 全くそう思わない

問26 まわりの人々は信頼できる。

1. 強くそう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. 全くそう思わない

問27 まわりの人々はお互いにあいさつをしている。

1. 強くそう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. 全くそう思わない

問28 いま何か問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする。

1. 強くそう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない 5. 全くそう思わない

【5】生活の満足度とその要因についておたずねします。

問29 現在、あなたはどの程度ご自分の生活に満足していますか。「とても満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。(○は1つ)

満足度										
0点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点

問30 生活の満足度を判断する際に重視した基準は何ですか。あなたのお考えに近いもの上位2つに○をつけてください。(○は2つ)

- 1 自分の理想との比較 2 他人との比較
3 過去の自分との比較 4 将来への期待・不安

問31 生活の満足度を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 家計の状況(所得・消費) | 2 就業状況(仕事の有無・安定) |
| 3 健康状況 | 4 自由な時間 |
| 5 充実した余暇 | 6 仕事の充実度 |
| 7 精神的なゆとり | 8 趣味、社会貢献などの生きがい |
| 9 家族関係 | 10 友人関係 |
| 11 職場の人間関係 | 12 地域とのつながりや交流 |

問32 あなたの生活の満足度を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものに2つまで○をつけてください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 あなた自身の努力 | 2 家族との助け合い |
| 3 友人や仲間との助け合い | 4 社会(地域住民、NPO等)の助け合い |
| 5 職場からの支援 | 6 国や地方の政府からの支援 |

以上です。ご協力ありがとうございました。